

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）チュウキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ヨシノゼミ
中京大学	経済学部	吉野ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）セカイノヤマチャン	フリガナ）コヤマヒロキ	5人	無
世界の山ちゃん	小山博基		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

パソコン、プロジェクター

研究テーマ（発表タイトル）

愛知における地震対策のこれから ～企業と市民にできること～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年、日本各地で東日本大震災や熊本地震などの巨大地震が起こっており、東海地震も近い未来に起こるのではないかとされている。その場合、製造業の企業が密集している愛知県では大きな被害を受けることが予想される。そこで、過去の東日本大震災と熊本地震の被害に学び、東海地震の被害を最小限に抑えるための対策を予測する。また地震に対する意識を高め、被災した場合の速やかな復興につなげるための対策を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

内閣府の予測によれば、今後東海地震は30年以内に88%という高い可能性で起きるとされている。そのため、われわれは被害対策について注目した。東日本大震災と熊本地震では、すでに何らかの対策や取り組みが行われた。愛知県の防災局によると、これまで震災では被災者への支援が円滑に進まなかったこと、物資の供給、ライフラインの速やかな復旧が十分ではないとし、被害対策を行っている。しかし、行政の取り組みに反して県民の地震に対する意識は低いままである。震災の影響を減らす、すなわち減災をするためにも、自分で自分を助ける自助、家族・企業や地域コミュニティで助け合う共助の取り組みを強化する必要がある。また、震災による

経済被害を最小限に抑えることで、日本の成長をリードする愛知の産業を守ることにもつながるだろう。これらをふまえ、東海地震の発生に備え、市民・企業の意識を更に向上させる必要がある。

3. 研究テーマの課題

気象庁によれば、1980年頃から東海地震が来ると言われている。全国各地では次々と大規模な地震が起きているなか、東海地震は未だ発生していない。ここで、東日本大震災や熊本地震の被害や復興を調べ、防災局や図書館で調査したことをもとに東海地震の被害や対策を検討する。愛知県の製造品出荷額は全国1位の37兆471億円を誇り、2位の神奈川県は17兆9613億円と倍以上の差がついている。このことから、東海地震によって愛知県の製造業に打撃を受けることで、日本経済に深刻な影響を及ぼすと考えた。

中小企業庁によると、各企業は、現状の対策として、自然災害などの損害を最小限に抑え早期復旧を可能とする方法を準備しておくBCPを導入している。それにより従業員の安否確認がスムーズにでき、工場では機械の転倒や故障の防止に繋がることや、震災後も機械が稼働することで納品先からの信頼が高まり受注が増えたというメリットがある。愛知県は県内の企業に対してBCPの導入を促している。したがって私たちが考える課題は愛知県の製造業の被害のさらなる対策である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

東海地震がいつ起きてもおかしくないということを市民・企業に改めて認知してもらい、被害を最小限に防ぐために、できる限りの対策をとることが重要となる。企業側の取り組みとして、トヨタ自動車は東日本大震災をきっかけに、10次下請けまである部品の仕入れ先の生産場所・緊急連絡先をデータベース化した。それにより、生産の再開を素早く行えるようになった。しかし、自動車部品は3万点以上と言われており、完全に網羅されたデータベースはまだできていない。そこでわれわれは、津波から逃れられないため海に面さない地域に製造拠点を移転し、被害を分散させることが必要だと考えた。

現在愛知県では、地震への速やかな対応策をまとめた第3次アクションプランを策定している。この第3次アクションプランは東日本大震災や熊本地震を教訓に、年々改良されているが、われわれはこの対策に対して改善が必要だと考えている。第3次アクションプランの問題点は、243項目と多く複雑で見づらい。また、その多くはアイデアの提示にとどまり、実際に実行できていないことも問題である。そのため、第3次アクションプランの認知度は、愛知県民の2割程度にとどまる。これらを解決するためには、アクションプランに優先順位をつけ、簡潔にすることで、県民も目にする頻度が増えると考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・愛知県防災局へ訪問

調査目的：愛知県が東海地震についてどのような取り組みを行っているのかを知るため

- ・名古屋市内の市立図書館

6. 結果や今後の取り組み

工場設備の耐震化は被害軽減のために必要であるが、膨大な時間とコストがかかってしまう。そこで、より効果的に地震の被害を軽減させるには、市民の防災意識の向上が必要だと考えた。東海地震発生時にも落ち着いて行動できるように、これまでの教訓を伝えるための防災教育を繰り返し、いつ地震が起こっても対処できるようにしておかなければならない。

他方で、現在日本の地震に対する考え方は変わりつつある。これまで政府は大震法のもと、地震は直前予知が可能であるとの前提で交通や企業活動の規制を含む防災対策を定めていた。現在の地震学会の見解では正確な地震の発生予測はそもそも困難とされている。これからは、市民が自助と共助の両面からの対策が必要になる。

われわれの研究の結果、市民の意識を変えなければ、防災対策は難しいことがわかった。防災意識を向上させることで、避けられない地震が起きた時の被害を抑えることができる。このため今後の課題は、メディアや若者が多く利用する SNS や、広告を用いて視覚的に訴えるなどわれわれでもできる対策を考えて広めることであろう。

7. 参考文献

- ・平成 28 年熊本地震の影響試算について 内閣府
<http://www5.cao.go.jp/keizai3/kumamotoshisan/kumamotoshisan20160523.pdf> 2017/10/13
- ・愛知県防災局 <http://www.pref.aichi.jp/bousai/> 2017/10/24
- ・中小企業庁 http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/contents/level_c/bcpgl_01_1.html 2017/11/07
- ・気象庁 http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tokai/tokai_eql.html 2017/11/09
- ・著：藤野好美、3.11 東日本大震災と「災害弱者」、生活書院、2016/12/13
- ・著：日経コンストラクション、東日本大震災の教訓, 土木編、日経 BP 社、2011/6/23

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑